

買い手の実験画面

回数 5 / 5

残り時間 [秒]: 10

買い注文

100
120

市場に出ている
買い注文が並ぶ

価格

ここで買い注文を出す
数値を入力してからボタンを押す

買い注文を出す

取引履歴

売り注文

175
180
200

市場に出ている
売り注文が並ぶ

買いたい注文を選択してから
ボタンを押すと購入できる

買う

あなたは買い手です

財の価値	45
利得	0

売り手の実験画面

回数 5 / 5

残り時間 [秒]: 19

あなたは売り手です

仕入れ値 3
利得 0

取引履歴

買い注文

100
120

市場に出ている
買い注文が並ぶ

売りたい注文を選択してからボタンを押すと売却できる

売る

売り注文

175
180
200

市場に出ている
売り注文が並ぶ

価格

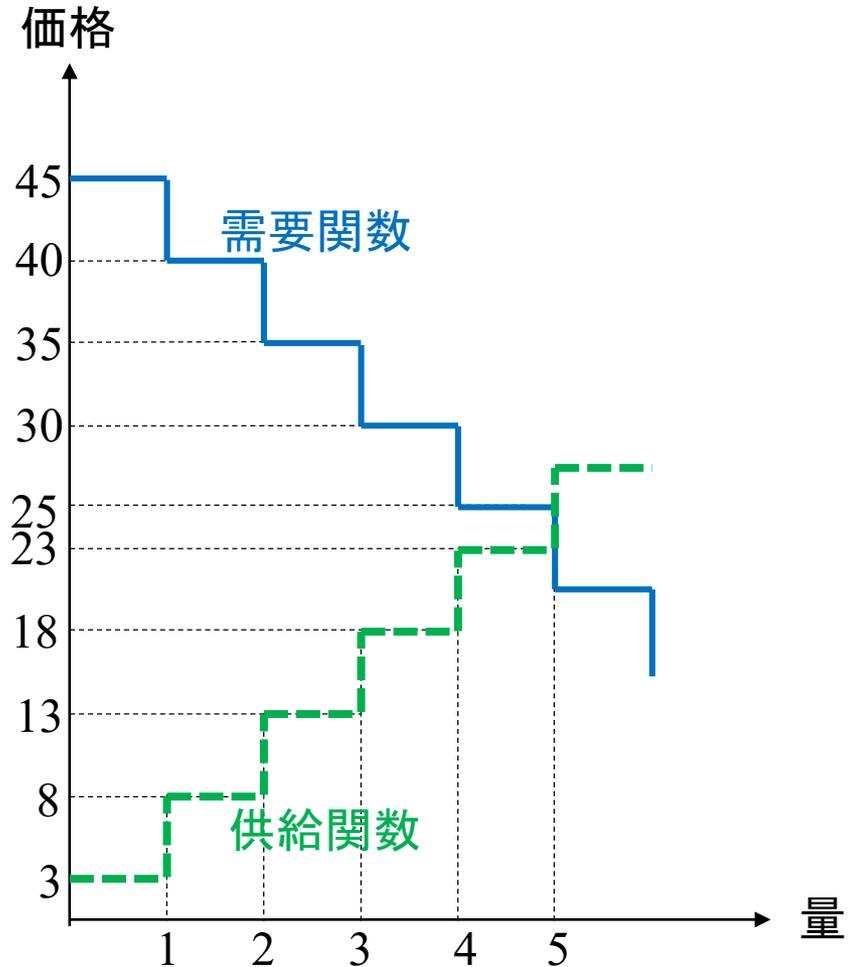
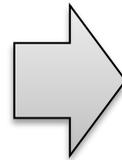
ここで売り注文を出す
数値を入力してからボタンを押す

売り注文を出す

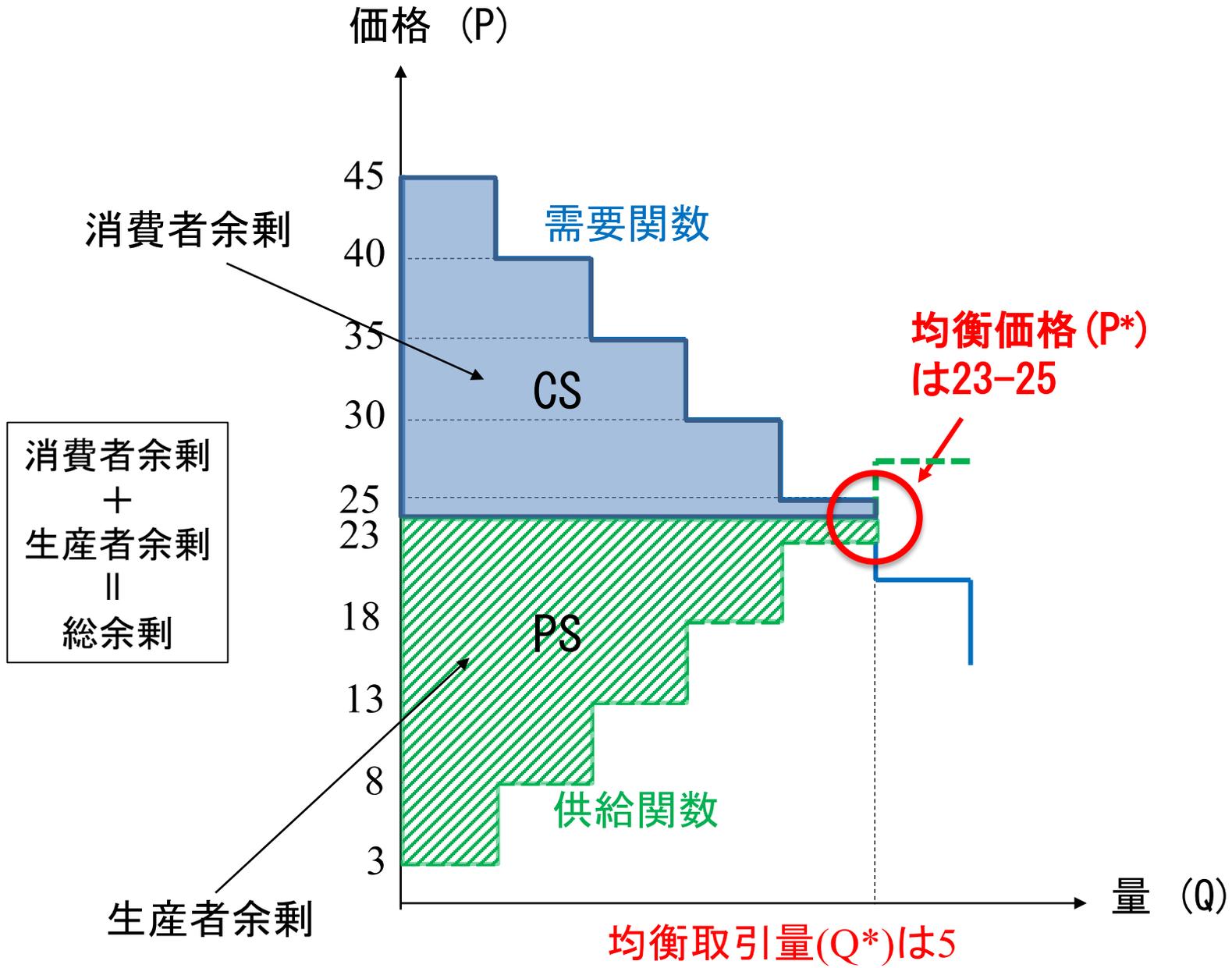
需要関数と供給関数

Table: 実験市場における買い手と売り手の内訳

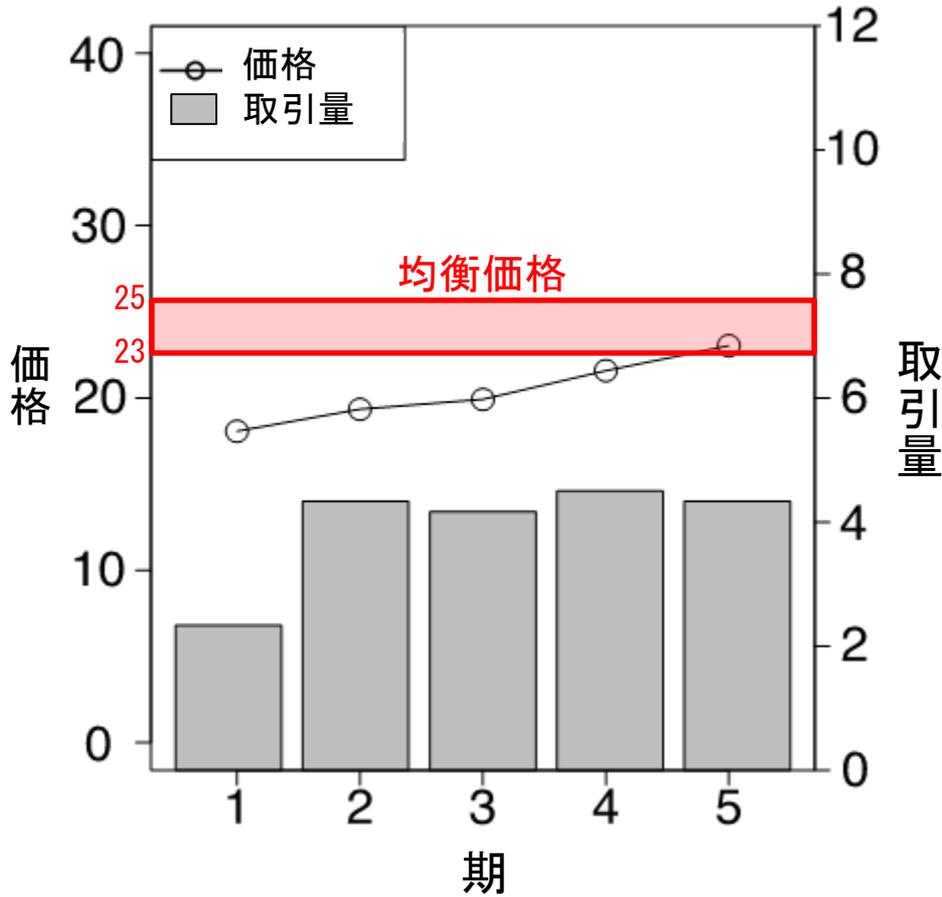
買い手		売り手	
財の価値	人数	仕入れ値	人数
20	1	3	1
25	1	8	1
30	1	13	1
35	1	18	1
40	1	23	1
45	1	28	1



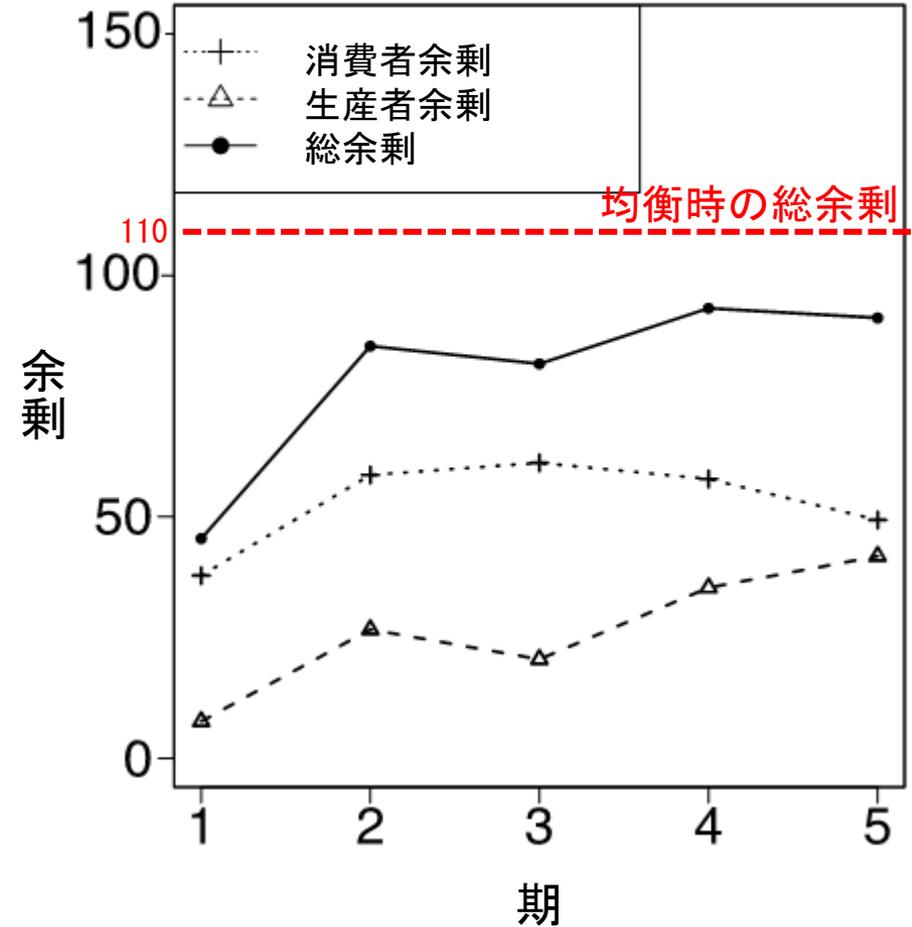
市場均衡



実験結果の集計：実験1

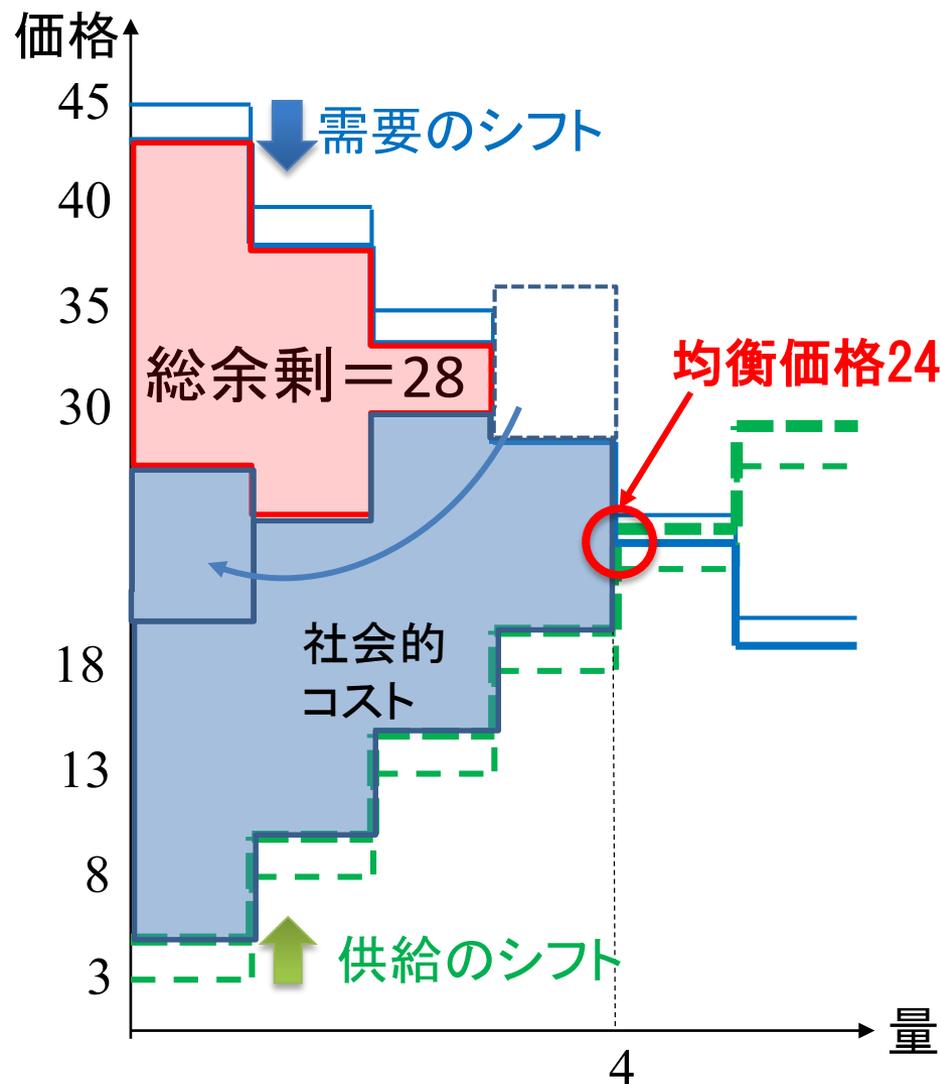


(a) 価格と取引量



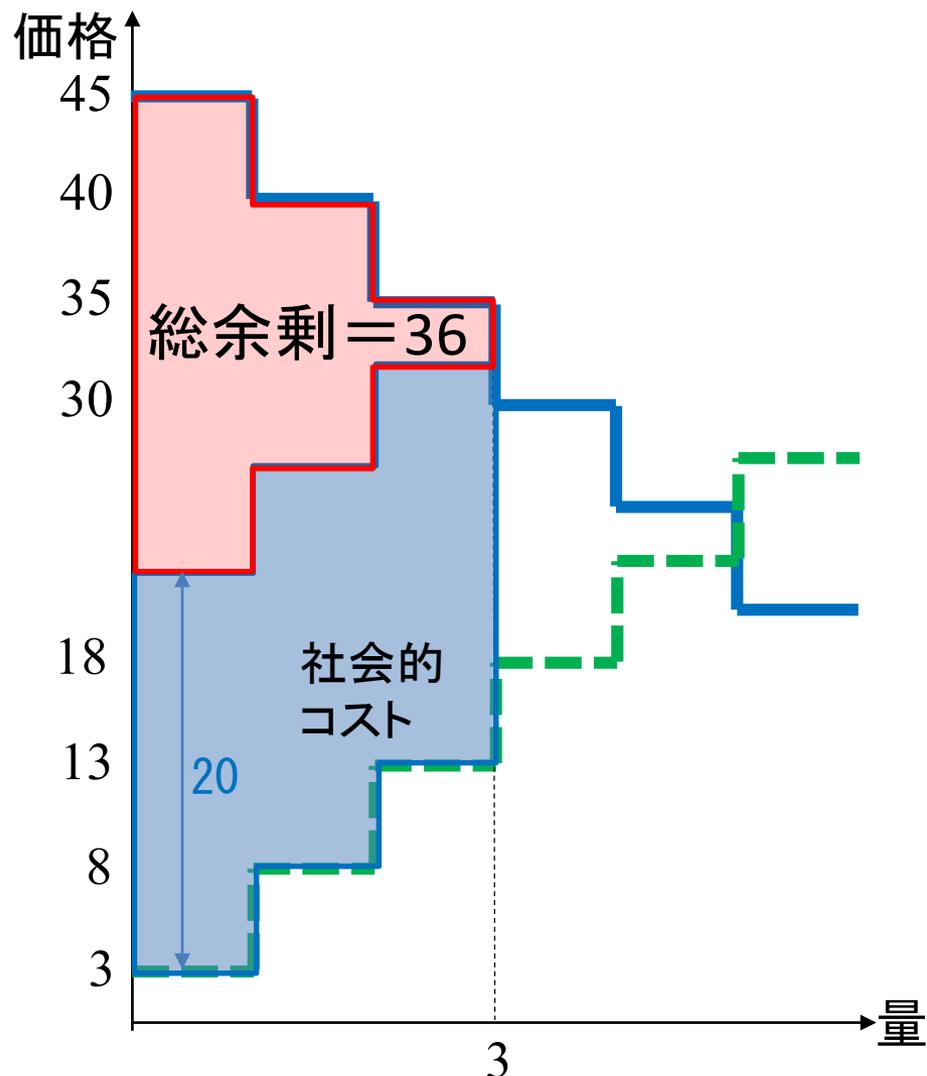
(b) 余剰

実験2の理論分析



(a) 私的コストのみを考慮した場合

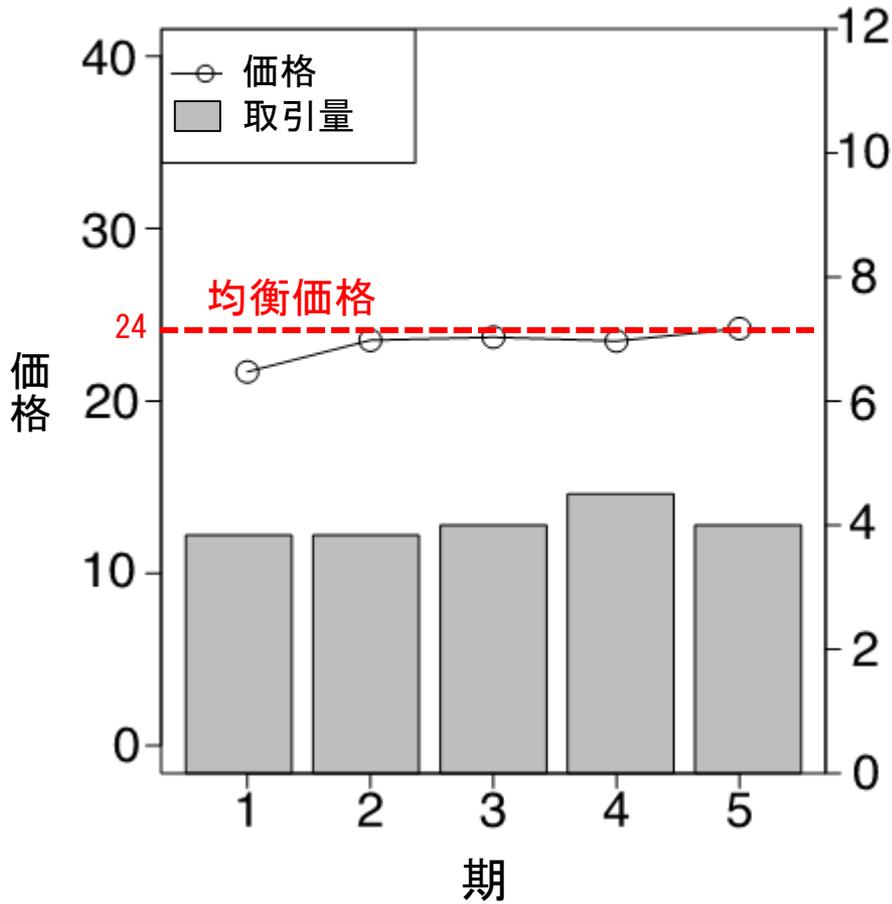
過剰な取引量



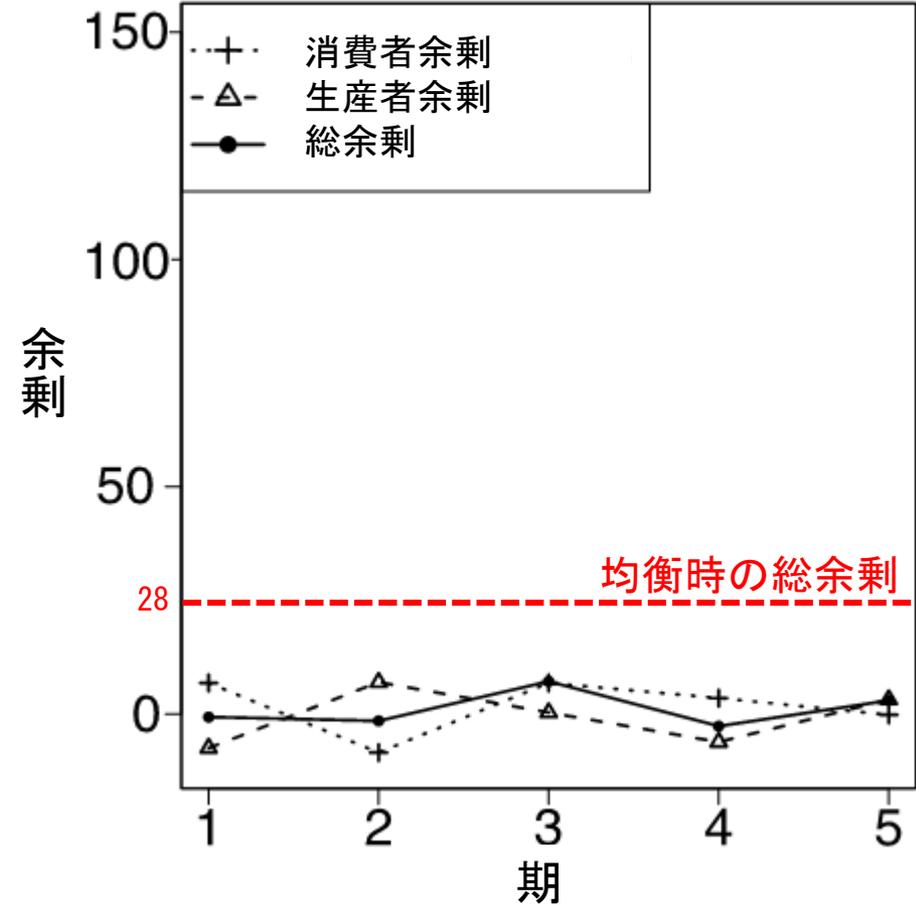
(b) 社会全体で最適な取引量

社会的に最適な取引量は3

実験結果の集計：実験2

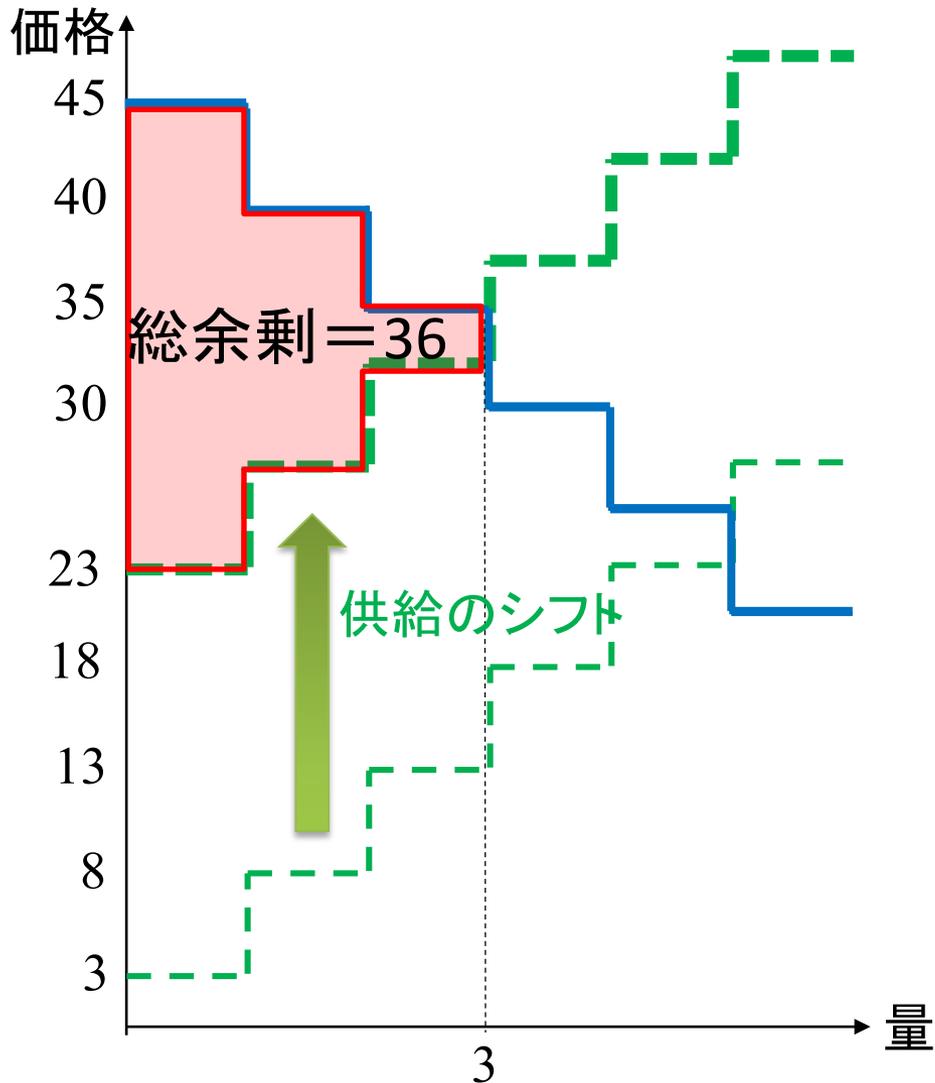


(a) 価格と取引量



(b) 余剰

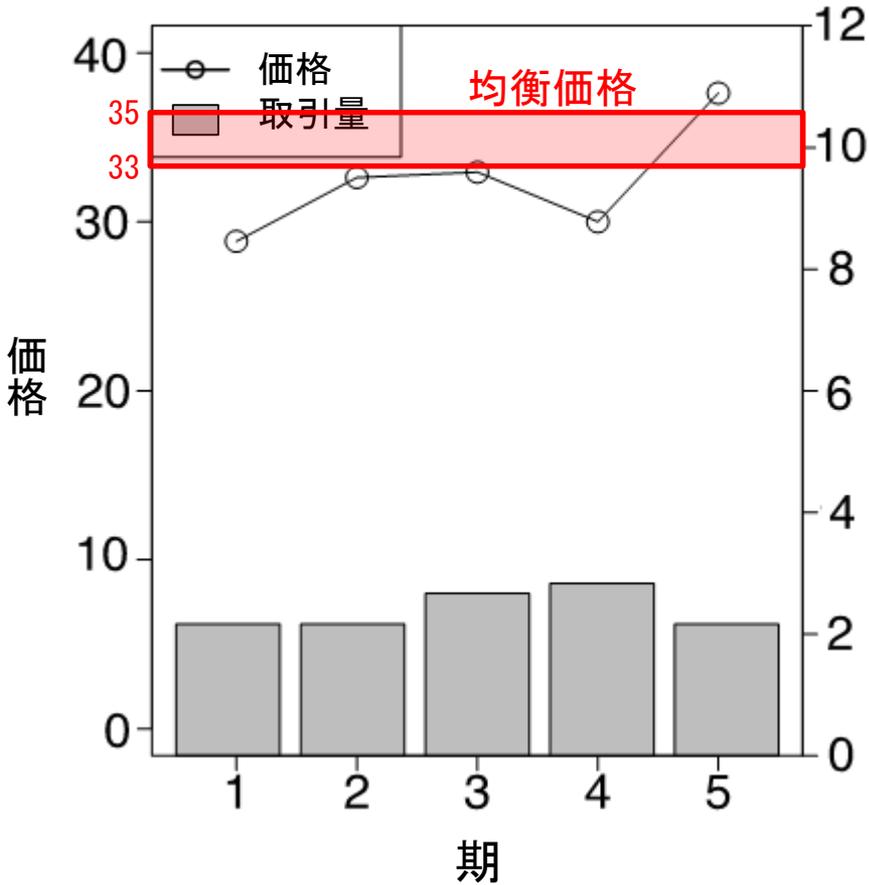
実験3の理論分析



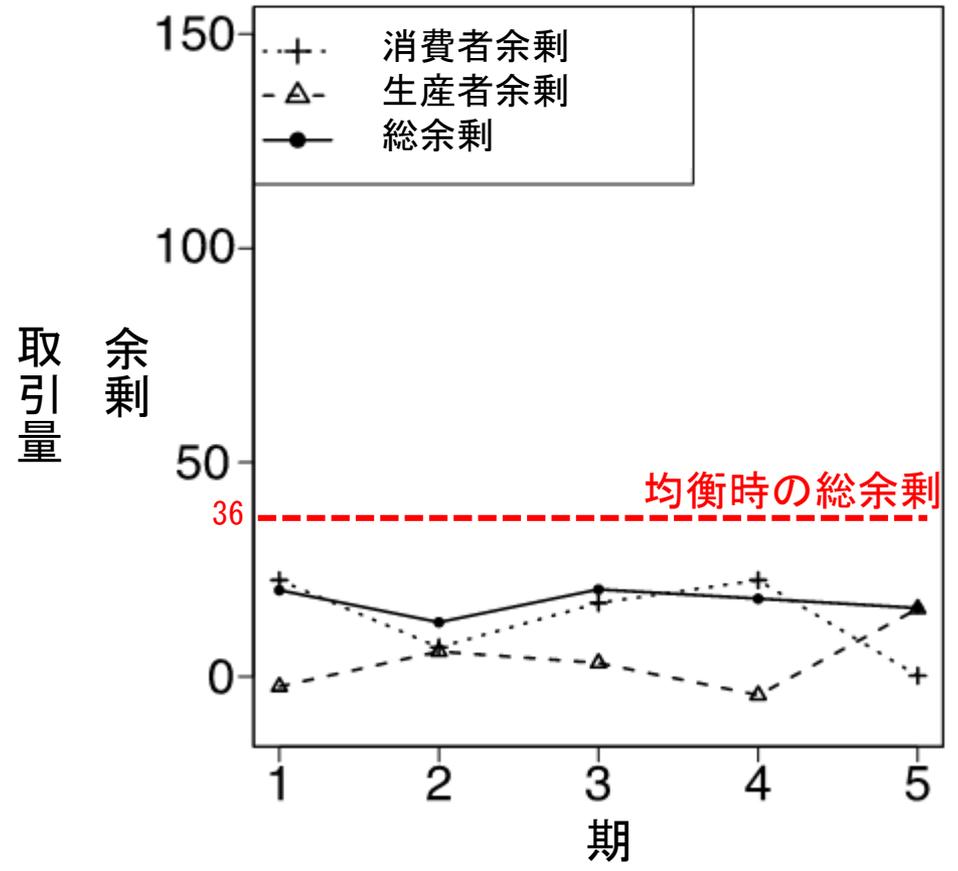
- 取引しない買い手と売り手
 - 税金が等しく配分されるので利得は0
- 取引する買い手
 - コスト分はキャンセルされ、利得 = 財の価値 - P
- 取引する売り手
 - 税金を支払うため、利得 = P - 仕入れ値 - 20

税金の導入によって、社会的に最適な状態が実現する

実験結果の集計：実験3



(a) 価格と取引量



(b) 余剰